

# 代表質問

自由民主党



選挙区 米子市  
議員 斉木 正一

## 大規模自然災害からの教訓

**問** 防災・減災活動の実効性を上げるための総合的な取り組みを深化させるべきではないか。

**答** 深刻な被害の教訓をもとに、ダム放流のあり方など、根本から組み替えるべきところは組み替えようとしている。議員の戒めの言葉を旨とし、向上に努めていく。

## 県民の命を守る安全対策

**問** 幼児や児童・生徒が犠牲となる交通事故を防ぐため、危険箇所の洗い出しや具体の点検などの対策を講じるべきではないか。

**答** ガードレールや信号機の設置など、緊急性の高いものを選別しながら優先順位をつけ、早ければ9月県議会に対策を提案する。

(警察本部長) 関係機関等との連携の下、交通環境の整備や道路における危険防止を推進するとともに、AIの活用も検討するなどして、あらゆる角度から交通事故の防止対策を強化する。

**問** 川崎市で発生した殺傷事件を受け、登下校時における子どもの完全

確保対策についての認識は。

**答** (教育長) 子ども達が安心して学べる環境をつくるため、県民の理解と協力を得つつ、多様な担い手によって社会全体で取り組むべく、関係機関と連携していく。

## 高速道路網の整備促進

**問** 「米子〜境港」間の幹線道路建設に向けての取り組み状況は。

**答** 改めて米子市との協議を始め、道路の必要性について圏域の合意を形成し、具体的な要請活動に向かう道筋を開いていく。

## 二つの新幹線構想

**問** 新幹線構想をどのようにして前進させようと考えているのか。

**答** 山陰新幹線と中国横断新幹線の基本計画路線からの格上げを目指す運動を展開しながら、未来への道筋を開いていく。

## 子育て王国ととりの充実

**問** 一歩先を行く子育て支援をどのように展開していくのか。

**答** 経済的負担、身体的・精神的負担、仕事と子育ての両立などをポイントとしながら、これからの子育て政策を再構成していく。

## 今後の県立高校のあり方

**問** 多様化する生徒のニーズや社会の変化に対応した魅力ある高等学校づくりに取り組むべき。

**答** (教育長) (財) 地域・教育魅力化プラットフォームの協力を得ながら、地元自治体、企業、学校、教育委員会等が一体となり、中山間地域の高校における魅力の磨き上げや情報発信などを検討する。

## 農林水産業の活力増進

**問** 令和5年の農業生産九百億円達成に向けた今後の取り組みは。

**答** 畜産のウエイトが高く、新しい種雄牛を起爆剤として増頭を図る。担い手不足の解消も必要であり、付加価値の向上や経営の安定化などに総合的に取り組む。

## 参院選の合区解消に向けて

**問** 憲法改正も視野にいたれた合区解消の取り組みを強化すべき。

**答** 合区が固定化されてしまいかねない風潮が出ている。改めて警鐘を鳴らし、全国知事会等を通じて、仲間の知事とともに働きかけを行っていく。

## 県財政の現状と課題

**問** 本県が抱える財政課題と対応策をどのように認識しているか。

**答** 地方消費税の伸び以上に地方交付税が減らされる逆転現象が起きている。大都市も地方もそれぞれ財源を伸ばして財政基盤を確立することが喫緊の課題である。

## 県政運営の基本姿勢

**問** 令和新时代の創造に向けた今後の県政運営の基本方針は。

**答** 鳥取県は民主主義の適正規模であると思う。大都市ではできない施策を住民本位で実行することができ。価値観を転換し、暮らしに基軸を置きながら本当の幸せを求める好適地として、令和の時代を切り開いていく。